

第4回 益城町子ども議会

感想 (抜粋) 参加した



子ども議員  
岩村岬 くん  
(飯野小6年)

僕の質問に対して、役場の人が丁寧にたくさん答えていた  
だいて、とてもうれしかった  
です。

僕は、これまで、自分のことや身の回りのことは考えたことがありませんでしたが、益城町全体のことを考えたことがありませんでした。これから益城町のことを考えて、もっとみんなが住みやすい町をつくっていき  
たいと思います。



子ども議員  
垣田如月さん  
(益城中2年)

子ども議員一人一人が町に対しての考えをきちんと持ち、意見として出していたので、私の気づかなかった町の変化を知ることができました。  
普段、役場で行われている議会を



緊張の中での熱弁

経験することができ、たいへん勉強になりました。  
また、これからの益城町について真剣に考える、とても貴重な時間を過ごすことができました。



子ども議員  
西佳奈美さん  
(木山中3年)

子ども議会に参加したことで、「学校の議会と町の議会の違い」を知ることができました。

生徒会議長という役職で、人前で話すことに慣れていくつもりでした。しかし、実際に議長席に座ると、足の震えが止まらず、とても緊張しました。学校での議会進行よりも、はるかに大きな何かを感じたのです。何かとは、町民の方々全員のことだと思えました。支えるものの大きさが全く違ったのです。

なぜ、議長席に座っただけで気づいたのでしょうか。周りに座っていらっしやった役場の方々からの、町民の皆さんへの思いが伝

町の将来を真剣に見つめる



わってきたのだと思います。  
私は、話の先にいる人を考えることのできるリーダーを目指して頑張っています。

「グランメッセと学校の間の道路設備について」

永田晋梧議員

「より暮らしやすい都市づくり」

藤村龍士議員

「益城町の復旧について」

小林祐太議員

「益城町について」

垣田如月議員



緊張から解き放たれ、みんな笑顔で、ハイチーズ！ 2017.8.30